

第4号で、挨時身言規挑のいたずらを紹介した。職員にももちろん子どもにも内緒のことである。今回は過去最高に難易度の高い方法である▼しばらく休憩していたが、今日は、久しぶりにそのいたずらを試みた。さらに、いつもより大きな規模でいたずらを進めていった▼いたずらの内容は、「○○を△△△に××××こと」であるが、進めていくと「ある女の子の○○は、すでに△△△に××れていた」のである。前にも見かけた気もするが、その時はそのま▼今日は、よし！と思い立って、教室を尋ね、校長室に招待した。ドキドキしながら校長室に来てくれた。気になってついてくる子もいる。なぜ自分が校長室にいけないのかわからないのか見当もつかなかったらしい。とても緊張してる様子▼早速要件に入った。私が、あるいたずらをしている事。そして今日もそのいたずらをしてたら、あなたの○○に出会ったということ。そして、単刀直入に「あなたが○○を△△△に××のは、なぜですか？誰かに教えてもらったのですか？」▼保育園の時に母さんに教えてもらったということがわかった。「校長先生は、大賛成です。でも色々な考え方があるからね。でもそんな子が増えるといいと思っています。あなたは、これから校長先生の仲間です。続けようね」▼仲間が一人増えた。このいたずらは、今の所二人だけの秘密。押し付けは絶対によくない。